

株式会社 東郷電機製作所

2018年度 環境経営レポート

(対象期間:2018年 4月～2019年 3月)



作成日: 2019年 6月 10日

《目次》

	ページ
① 組織の概要	1
② 対象範囲	1～2
③ 環境経営方針	3
④ 環境目標	4
⑤ 環境活動計画	4
⑥ 環境目標の実績	5
⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	7
⑨ 代表者による全体評価と見直し	7
⑩ 環境活動の紹介	8

《① 組織の概要》

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 東郷電機製作所
代表取締役社長 前田 和雄

(2) 東郷電機グループ認証対象事業所及び所在地

株式会社 東郷電機製作所

- 本社工場 鳥取県東伯郡湯梨浜町門田906番地1
- 上井工場 鳥取県倉吉市上井町1丁目101
- 赤碕工場 鳥取県東伯郡琴浦町松谷274番地3

有限会社 ワイテック

- 米子工場 鳥取県米子市河崎22-1
- 松江工場※
 - ・第1工場 島根県松江市東津田町1824番地
 - ・第2工場 島根県松江市東津田町1201番地5

※ 松江工場は第1・第2工場の2サイトがあるが、松江工場として集約運用管理を行っている。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・ 環境管理責任者 山崎 俊哉 TEL:0858-32-1811

(4) 事業の規模

項目	2016年度	2017年度	2018年度
製品出荷額	1,248百万円	1,549百万円	1,489百万円
主要製品生産数	137,534千個	160,115千個	143,778千個

2018年度	本社工場	上井工場	赤碕工場	米子工場	松江工場
従業員(人)	236	38	32	43	38
延べ床面積(m ²)	5,319	934	1,928	872	449

《② 対象範囲》

(1) 事業内容、認証・登録範囲

- ・ 電子部品(スイッチ・コネクタ)の生産
- ・ 組立設備及び検査設備の設計/製作

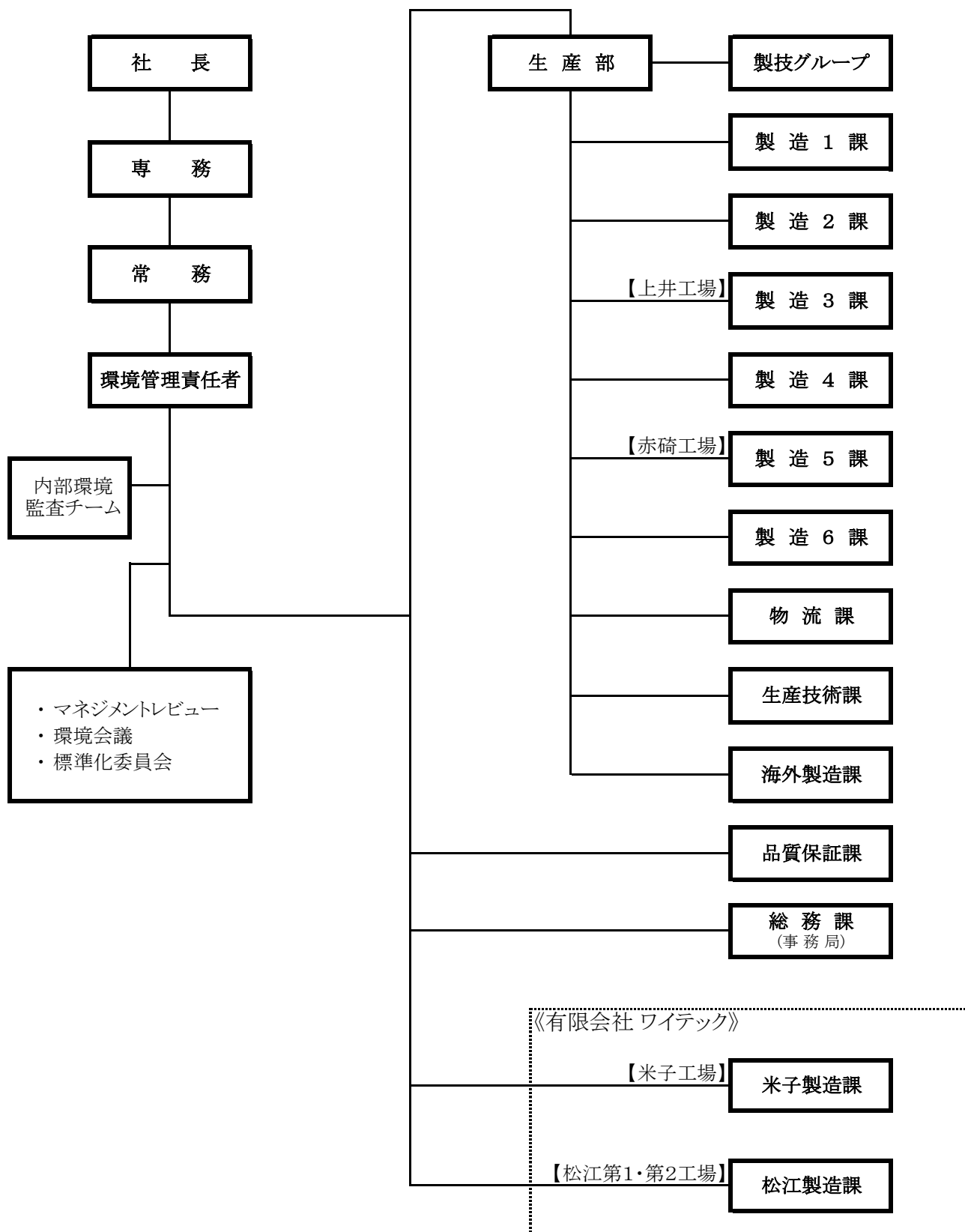
(2) レポートの対象期間

- ・ 2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日
- ・ 発行日 2019年 6月 10日

(3) 東郷電機グループ環境管理組織図

※エコアクション21での認証対象外組織はない

《株式会社東郷電機製作所:本社工場》



東郷電機グループ 環境経営方針

基本理念

東郷電機グループは、環境保全が人類共通の重要課題であることを認識し、電子部品(スイッチ・コネクタ)の生産を通じて、従業員一人一人が環境に与える影響を低減する活動に取組み、社会に貢献して行きます。

活動方針

1. 環境保全活動として、次の事を重点課題として取組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減のため、電力・化石燃料等のエネルギーを有効利用します。
 - ② 循環型社会形成のため、リサイクルの推進と廃棄物の適正な処理を行います。
 - ③ 限りある資源の有効活用のため、品質及び生産効率の向上に取組みます。
2. 環境目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取組みます。
3. 環境関連の法規制およびその他の要求事項を遵守します。
4. 地域社会との調和を目指して社会貢献活動を行います。
5. 環境への取組を環境経営レポートにまとめ公表いたします。

改訂日 2019年 3月 1日

代表取締役社長 前田 和雄

《④ 環境目標》

項目	単位	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績(基準年)	2018年度 目標	中長期目標		
						2019年度	2020年度	
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	1,843,142 90.5%	1,913,346 94.0%	2,036,028 100.0%	2,015,800 99.0%	1,995,600 98.0%	1,975,600 97.0%	
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,466,241 89.2%	2,571,259 93.0%	2,765,835 100.0%	2,738,400 99.0%	2,711,000 98.0%	2,683,700 97.0%	
化石燃料使用量の削減	灯油	L 基準年度比	18,161 157.6%	17,381 150.8%	11,526 100.0%	11,410 99.0%	11,300 98.0%	11,180 97.0%
	ガソリン	L 基準年度比	9,385 122.9%	8,114 106.2%	7,637 100.0%	7,560 99.0%	7,485 98.0%	7,410 97.0%
	軽油	L 基準年度比	1,115 300.5%	958 258.2%	371 100.0%	367 98.9%	364 98.1%	360 97.0%
リサイクル率	% 基準年度比	91.7 98.4%	89.6 96.1%	93.2 100.0%	—	—	—	
廃棄物の排出量	kg 基準年度比	99,657 75.6%	97,804 74.2%	131,751 100.0%	—	—	—	
水使用量	m3 基準年度比	5,223 121.7%	4,413 102.9%	4,290 100.0%	—	—	—	

注)・化学物質については、顧客からの製品の仕様書で使用量等が決められている。環境目標の設定は行わないが、環境活動計画において適正管理に努める。

注)・電力使用量におけるCO2排出係数 0.719kg-CO2/kWhは、2013年の中国電力 調整前の排出係数を用いている。

《⑤ 環境活動計画》

取組計画	対象年度		備考
	2018年度	2019～20年度	
1. 省エネ化・省資源化			
① 生産性・工程の改善を推進し効率・短縮化を図る	○	○	
② 品質改善活動(製品歩留り向上等)の実施	○	○	
③ エアモレ箇所の定期点検	○	○	
④ コンプレッサー稼働時間の監視	○	○	
⑤ 省エネ設備への切替	○	○	
2. 化学物質の適正管理・使用			
① 化学物質リスクアセスメントの構築	○	○	
② PRTR法 指定化学物質使用量の把握	○	○	
③ 顧客規制化学物質含有調査の実施	○	○	
3. 自然環境の保全活動			
① ボランティア活動の実施(東郷池アダプトプログラム)	○	○	
② 工場周辺の清掃活動の実施	○	○	
4. 環境教育・訓練の実施			
① 災害発生時の対応教育	○	○	
② 環境負荷に対する専門教育 (有機溶剤、危険物、廃棄物、コンプレッサー)	○	○	
③ 環境重点取組みの説明・啓蒙活動	○	○	

《 ⑥ 環境目標の実績 》

1. 2018年度の目標と実績

(a) 総量での評価

評価:○:目標に対して達成、×:目標未達

項目	単位	2017年度 基準年 a	2018年度		差異		評価	排出 係数	
			目標 b	実績 c	c-a	c-b			
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	2,036,028 100%	2,015,800 99.0%	1,966,432 96.6%	-69,596	-49,368	○	-	
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,765,835 100%	2,738,400 99.0%	2,686,146 97.1%	-79,689	-52,254	○	0.719 kg-CO2/kWh	
化石燃料 使用量の削減	灯油	L 基準年度比	11,526 100%	11,410 99.0%	8,620 74.8%	-2,906	-2,790	○	2.489 kg-CO2/L
	ガソリン	L 基準年度比	7,637 100%	7,560 99.0%	5,487 71.8%	-2,150	-2,073	○	2.322 kg-CO2/L
	軽油	L 基準年度比	371 100%	367 98.9%	343 92.5%	-28	-24	○	2.619 kg-CO2/L
リサイクル率	% 基準年度比	93.2 100%	-	93.3 100.1%	0.1	-	-	-	
廃棄物の排出量	kg 基準年度比	131,751 100%	-	151,080 114.7%	19,329	-	-	-	
水使用量	m3 基準年度比	4,290 100%	-	3,480 81.1%	-810	-	-	-	

注)・電力使用量におけるCO2排出係数 0.719kg-CO2/kWhは、2013年の中国電力 調整前の排出係数を用いている。

(b) 製品出荷高 百万円当りの原単位推移

項目	単位	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 基準年	2018年度 実績
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	1,934 147.2%	1,935 147.3%	1,530 116.4%	1,314 100.0%	1,319 100.4%
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,576 144.3%	2,589 145.0%	2,057 115.2%	1,785 100.0%	1,802 101.0%
廃棄物の排出量	kg 基準年度比	130.18 135.2%	114.12 118.5%	89.00 92.4%	96.30 100.0%	101.34 105.2%
水使用量	m3 基準年度比	5.19 187.4%	5.48 197.8%	4.00 144.4%	2.77 100.0%	2.33 84.1%

＜実績に対する考察＞

【原単位CO2排出量の増加】

CO2排出量は減少(前年度比 3.4%減)したものの、生産高の減少(前年度比 10.2%減)の方が減少幅が大きく、結果的に原単位においては前年度を上回る(0.4%増)結果となった。

【廃棄物の増加】

古コンテナ/パレットなどの長期不要品を整理したことにより、廃プラ廃棄物の排出量が約 20トン増加となる。

【化石燃料の減少】

社有車を1台削減、暖房用ボイラー1台撤去したことによりガソリン/灯油が削減となる。

【水使用量の減少】

古いトイレ4カ所の改修により節水型のトイレへの切替えを進めた結果、水使用量が約19%の削減となる。

《 ⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 》

実施状況：◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全く出来なかった

実行計画テーマ/達成手段	実施状況	評 価 (結果と今後の方向性)	
		取 組 結 果	今後の方向性
1. 省エネ化・省資源化			
① 生産性・工程の改善を推進し効率・短縮化を図る	○	○生産性、品質改善活動を環境負荷低減とリンクさせ 17テーマの取組を行う。	◇一次不良率の低減 ◇設備稼働率/生産性の向上等の品質・生産効率の向上をテーマUPし、継続改善を行う。
② 品質改善活動(製品歩留り向上等)の実施	○		
③ エアモレ箇所の定期点検	△	○上期(9月)全部署によるエアモレ箇所の点検と改善を実施。下期は実施を見送る。	◇エアモレの点検・修理は、2019年度も継続取組とし、電力使用量削減に寄与させる。
④ コンプレッサー稼働時間の監視	△	○生産高減少(前年度比 96.2%)に対して、コンプレッサー稼働時間は前年度より1.1%減となった。	◇稼働時間を継続して監視し、コンプレッサーの有効活用を進めていく。
⑤ 省エネ設備への切替	○	①7月、8月、9月、12月 省エネエアコンへ5台更新 ②9月 社有車(ガソリン)の1台廃止 ③10月 補材倉庫の照明設備の見直し、LED照明への切替え +人感センサーの導入 ④12月 暖房用ボイラーの1台撤去	◇継続して省エネ設備への更新を計画し、導入効果試算を実施する。
2. 化学物質の適正管理・使用			
① 化学物質リスクアセスメントの構築	×	○化学物質を使用する現場との整合が遅れ、構築に至らず。	◇運用手順の見直しを行い、再構築を実施する。
② PRTR法指定化学物質使用量の把握	○	○7月 年間使用量の調査を実施。報告義務に至るまでの使用量はなかった。	◇使用量の把握を定期的に行い、化学物質の適正管理に努める。
③ 顧客規制化学物質含有調査の実施	○	○顧客要求に基づいて含有調査を行い、8件の非含有証明書を提出した。	◇顧客要求に基づき、含有調査に取組み、化学物質の適正管理・使用に努める。
3. 自然環境の保全活動			
① ボランティア活動の実施 東郷池アダプトプログラムの参加	○	○5月、10月 東郷池周辺のゴミ収集ボランティア活動を行った。	◇東郷池アダプトプログラムに参加し、自然環境保全に貢献して行く。
② 工場周辺の清掃活動の実施 上井、赤碕、米子、松江	○	○9月、3月 ボランティアによる工場周辺の清掃を実施した。	◇工場周辺の清掃活動を継続して実施し、地域社会へ貢献して行く。
4. 環境教育・訓練の実施			
① 災害発生時の対応教育	○	○6月 自衛消防組織を対象に役割・対応説明会を実施した。	◇火災発生時の総合訓練を実施する。
② 環境負荷に対する専門教育	△	①廃棄物の分別/有機溶剤取扱作業員への教育を実施する。 ②コンプレッサー、危険物は未実施。	◇産業廃棄物の分別徹底としてパトロール指摘と是正処理を実施する。
③ 環境重点取組みの啓蒙活動	○	○電力使用量、リサイクルへの取組み資料を作成し、全社に啓蒙した。	◇環境経営方針に基づいたテーマを選定し、啓蒙活動を行う。

《⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無》

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
水質汚濁防止法	貯油施設(灯油タンク)の事故時の処置と届出	○
浄化槽法	米子・赤碕工場の浄化槽の点検/清掃の実施	○
下水道法	排水基準の遵守	○
悪臭防止法	赤碕工場におけるトルエンの使用	○
毒物及び劇物取締法	劇物：トルエンの取扱い管理の実施	○
有機溶剤予防規則	有機溶剤の使用における管理の実施	○
PRTR法	指定化学物質の移動量を把握し、一定基準以上であれば届出	○
消防法	可燃性液体の保管、東郷工場におけるボイラーの使用届出	○
廃掃法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ・不燃物等)の適正処理	○
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の廃棄時の処置	○
小型家電リサイクル法	家電リサイクル品以外の小型家電の適正処理と資源の有効活用	○
自動車リサイクル法	業務用自動車の廃棄時の処置	○
フロン排出抑制法	業務用冷蔵空調機器におけるフロン類の管理	○
騒音・振動規制法	上井・松江第1・第2工場におけるコンプレッサー設置届出	○
工場立地法	敷地・生産施設・緑地・環境施設等の面積が変更となる場合の届出	○
労働安全衛生法	特定の化学物質についてリスクアセスメントを実施し、措置を講じる	○
PCB特別措置法	PCB含有調査及び、期限内の処分の実施	○

遵守状況 ○：全く問題なく遵守されている
△：遵守されているが、一部に改善すべきことがある
×：法の基準が遵守されていない

(1) 違反・訴訟の有無

過去5年以上、関係当局からの環境関連法規違反の指摘はありません。また、訴訟も生じておりません。

《⑨ 代表者による全体の評価と見直し》

(1) マネジメントレビュー実施日 : 2019年 3月 11日

(2) 代表者による見直し

- ① 世界景気の悪化が懸念される中、2019年度は厳しい受注状況の見通しであり、受注減を前提とした環境活動計画とすること。
 - 1) 一次不良率の低減、設備稼働率/生産性の向上などの品質・生産効率を向上させること。
 - 2) エアモレがまだまだ確認されるため、点検/修繕に取組み電力削減につなげること。
- ② フタル酸などの新たな規制化学物質が増え、一部の補材/材料では非含有品に切替えを行ったものの、品質保証の観点からも製品への化学物質の適正管理の向上に努めること。
- ③ 緊急事態に備え、避難訓練の実施/備品類の点検を実施すること。

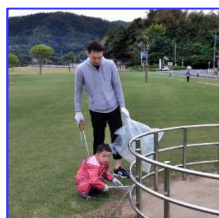
《 ⑩ 環境活動の紹介 》

自然環境の保全活動

自分たちの住む町・働いている地域を自分たちが美しくしよう

湯梨浜町が進めている「東郷池を守り育てるアダプトプログラム」に共感し、年2回の活動にのべ72名参加し、東郷池／工場周辺の清掃活動を実施した。

＜東郷工場 1回目＞ 東郷池の清掃



＜上井工場＞ 水路の清掃



＜東郷工場 2回目＞

チーム① 東郷池の清掃



チーム② 道路の清掃



＜赤碓工場＞ 道路の清掃



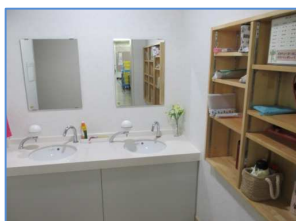
環境整備

働きやすい職場環境を考慮し、設備の入替・更新時に節水・節電型の設備を導入した。

＜トイレ 4カ所の改修＞



洋式トイレへ更新し
節水タイプを導入



ハンズフリー水栓の導入

・水使用量削減実績 (年間使用量/全社)
FY17 FY18
4,290m³ → 3,480m³ …… ▲18.9%

＜節電機器への更新＞



通路照明のLED化及び
人感センサーの導入で
切忘れ防止に効果



省エネエアコンへの更新
松江工場 1台
上井工場 1台
赤碓工場 1台
東郷工場 2台

要求事項の遵守

欧州REACH規則での新規制限物質の全廃を顧客と連携して取組み、フタル酸含有補材類を非含有品へ切替えを行った。